

地域づくり技術研究所 防災啓発活動報告 平成30年度

名 称	「平成30年度 大規模津波防災総合訓練」 出展
実施目的	地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図ることを目的に、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、陸・海・空に渡る本番さながらの訓練が実施されました。当研究所は、この訓練の展示・体験コーナーに出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実施日	平成30年11月3日（土） 9:00～12:00
会 場	四日市港霞ふ頭 （三重県四日市市霞二丁目）
主 催	国土交通省、三重県、四日市市、鳥羽市、四日市港管理組合
共 催	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議
参加機関	指定行政機関、指定公共機関、地方行政機関等123機関
訓練参加者	約1,800名（協会展示ブース見学者 約70名）
実施内容	<p>防災啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」（製作・著作：一般社団法人東北地域づくり協会） ② パネル展示 ・直下型地震：濃尾地震、三河地震、阪神・淡路大震災など ・海溝型地震：明応地震、昭和東南海地震、東日本大震災など ③ 液状化現象試験装置の実演 ④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集 2017」 <p>※中部地方防災エキスパートが訓練に参加（河川管理施設の被災状況調査訓練）</p>
実施効果	<p>マグニチュード(M)9.1の南海トラフ巨大地震を想定し、関係機関が連携し、避難の呼びかけや被災者の救命・救出活動、TEC-FORCEによる緊急排水や道路・航路啓開、コンビナート火災を想定した訓練など、陸海空において総合的な実働訓練が実施されました。</p> <p>当協会の展示・体験コーナーでは、液状化実験や過去に発生した南海トラフ沿いの巨大地震等のパネルを展示しました。体験型の液状化実験や、明応・宝永地震等の海溝型地震に幅広い年齢層の方が関心を寄せられました。</p>

実 施 状 況

